

## 清流通信「四万十川物語」

第55章（平成13年8月10日）

送信者：高知県 四万十川流域振興室

Tel(088)823-9795 Fax(088)823-9296 E-mail shimanto@pref.kochi.jp

### 四万十をなめたら、いかんぜよ！！

近年、河川を利用した自然体験型のレジャーを楽しむ人々が増加しています。これに伴い、釣り、水泳やキャンプ中の水難事故が跡を絶ちません。四万十川でも、今年7月、遊泳中の男性が溺れて亡くなりました。

「自然の恐さ」は、ゆったりとした流れが続く四万十川も、決して例外ではありません。四万十川にお出かけの際には、川の状況を把握し、「恐さを知って」川と親しんでいただきますよう、お願いいたします。

また、流域では、水難事故防止に向けたさまざまな活動が行われています。注意喚起の呼びかけに応じていただく等、活動への御協力をお願いします。

（活動の例を2～3紹介します。）

#### ●四万十川安全対策連絡会

西土佐村内の地区長、カヌー体験業者や関係する行政機関で構成されています。四万十川安全マニュアルの作成・配布などを行っています。

#### ●中村警察署

夏休み中の土、日曜日を中心に、署員が中村市から西土佐村にかけての四万十川流域を巡回。水辺のレジャーの安全確保を呼びかけています。

#### ●四万十川流域住民ネットワーク

警察や消防署の方たちが常時見回るには、四万十川は長すぎます。流域で生活し川の特徴を知っている住民の方々が、レジャー客の方に一言声を掛ける、「土っ佐の一言」の活動を進めています。



#### ★楽しい川遊びのために…

- ・川遊びの前には、地元の人に川の状況を聞きましょう。
- ・ダム放流や集中豪雨時の沈下橋は、通行・カヌーでの川下りとも大変危険です。
- ・体力を過信しないで、長旅の後すぐ川に入らないこと。特に四万十川を泳いで横断することや履物を履いたままでの遊泳は絶対しないで下さい。

—【四万十川安全マニュアル】より—

#### 企画展「西四国の縄文文化」の御案内

愛媛県南西部から高知県西部にかけての西南四国地域には、リアス式海岸の宇和海、国内有数の清流四万十川、石灰岩が広がる四国カルストと豊かな自然が残っています。このような自然とともに暮らした縄文時代の人々の足跡が発見されたのは、今から110年前の明治24年のことでした。西南四国地域では、その後も現在に至るまで、多くの遺跡・遺物が発見されています。

愛媛県歴史文化博物館では、9月2日(日)までの予定で、企画展「西四国の縄文文化」を開催中です。この企画展では、十川駄馬崎遺跡(十和村)、木屋ヶ内遺跡(大正町)など、四万十川流域の遺跡からの出土遺物も、多数展示されています。縄文時代の人々の活動の跡を、再発見してみませんか。

\*お問合せ先：愛媛県歴史文化博物館（東宇和郡宇和町） TEL 0894-62-6222

四万十川安全マニュアルは、西土佐村観光協会(カヌー館)などで配布しています。